

シンポジウム「カジノ/万博で経済振興」という

～05愛知万博を検証する～

2018年6月16日(土) 1:30~4:00

会場：あべのハルカス 23階 阪南大学キャンパス



(地図は裏面)

大阪府・市 IR 推進局が昨年作ったパンフレットには、「IR はカジノだけじゃない。楽しいことがいっぱい」と謳い、娯楽施設やショッピングモールが一緒だと書いています。

でも、そもそもなぜカジノをつくる必要があるのか、その説明は一切ありません。

おまけに、カジノつき IR 設置計画の夢洲は大阪市の最後のごみ処理場。ここに IR 施設を作れば、新たなごみ処理場が必要となり、大阪市民の負担が増えます。

今、カジノ問題だけでなく、「大阪の経済活性化に万博が必要なのか？」が問われています。

基調講演



山田明さん

名古屋市立大学
名誉教授。

05年愛知万博の
自治・財政・環境への
問題を指摘。

特別報告



筋原章博さん

前・大正区長。
中小企業にスポット
を当てたツアーや地
元の商店街活性化
にとりくむ。



中野雅司さん

「大阪を知り考
える会」代表として、
大阪の文化と維新
政治の問題点を発
信し続ける。



コーディネーター

桜田照雄さん

阪南大学教授
カジノ問題を考える大阪ネットワーク代表